

2023  
11  
月号

# 県民の森 だより



発行 宮城県 県民の森管理事務所 TEL&FAX 022-255-8801 入園料：無料  
〒981-0121 宮城県宮城郡利府町神谷沢字菅野沢41 利用時間：4月～10月／9時～16時30分  
(指定管理者) 特定非営利活動法人 宮城県森林インストラクター協会 11月～3月／9時～16時

HPはこちら！

今年7月は世界の平均気温が観測史上最高になり、国連事務総長は「地球温暖化の時代は終わり、地球沸騰の時代が到来した」と危機感を訴えました。異常な暑さは植物にも何らかの影響があるのではないかと誰もがお考えのよう、「今年の紅葉はどうでしょう」というお問い合わせを少なからずいただきました。栗駒山を筆頭に名だたる紅葉の名所からは、今年も見事な紅葉の便りが聞こえてきました。県民の森も安心して紅葉を楽しみにお越しください。  
(所長：森山稔也)

## 野鳥カラフル写真展 ◆宮城県の鳥たち◆

■場所 ■宮城県県民の森 中央記念館小ホール  
■日時 ■11月2日～29日  
9～16時  
■入場 ■無料

昨年に引き続き2回目の開催です。県民の森の野鳥観察会参加者たちの力作！  
ぜひ、ご覧ください。

今年度も、これから3月までイノシシの箱罠を設置いたします。利府町方面と仙台市方面に分かれ随時設置となります。

設置個所は通行止めといたします。お知らせ、看板に十分ご注意ください。

しばらくの間、皆様のご理解、ご協力をよろしくお願ひいたします。

## イノシシ注意！



## 閉園時間変更のお知らせ

例年通り、11月1日から3月31日まで、閉園時間が30分繰り上がりります。駐車場利用も16時まで、クラフトコーナーの受付も15時半までとなります。お間違えのないように、よろしくお願ひいたします。

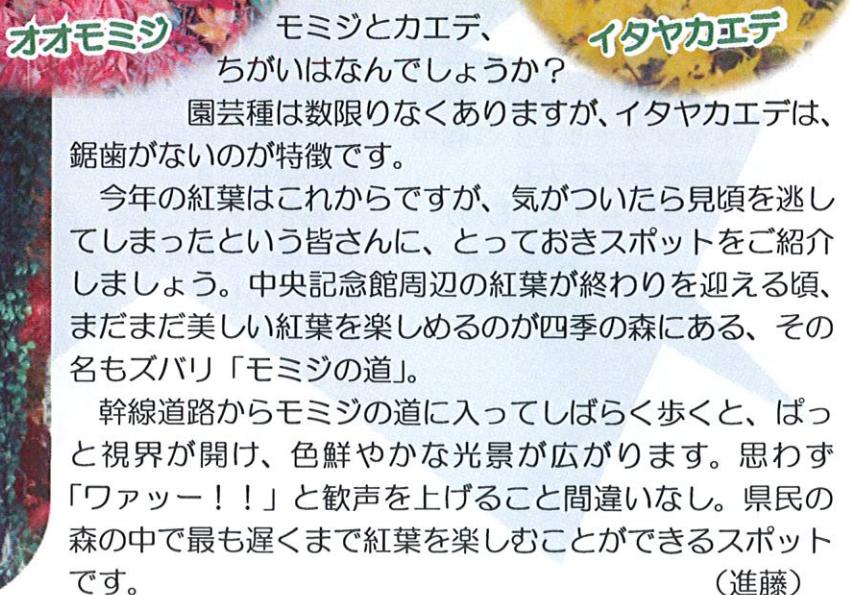


## 県民の森のお勧めスポット～No18～ 四季の森で紅葉狩り

どの時期に訪ねても魅力満載の県民の森。

11月のハイライトは、なんといっても紅葉でしょう。晴れた日は青空とのコントラストがきれいだし、雨の日はしっとりと濡れた紅葉や黄葉、褐葉に心が和みます。カサコソとわざと音を立てながら落ち葉を踏みしめて歩くのも楽しいものです。

オオモミジ



モミジとカエデ、ちがいはなんでしょうか？

園芸種は数限りなくありますが、イタヤカエデは、鋸歯がないのが特徴です。

今年の紅葉はこれからですが、気がついたら見頃を逃してしまったという皆さんに、とっておきスポットをご紹介しましょう。中央記念館周辺の紅葉が終わりを迎える頃、まだまだ美しい紅葉を楽しめるのが四季の森にある、その名もズバリ「モミジの道」。

幹線道路からモミジの道に入ってしばらく歩くと、ぱっと視界が開け、色鮮やかな光景が広がります。思わず「ファッ！！」と歓声を上げること間違いない。県民の森の中で最も遅くまで紅葉を楽しむことができるスポットです。

(進藤)

## ◆中央記念館◆コーナー vol.8 ~会議室~

第一・第二会議室の仕切りを取り  
払って広く使うこともできます。

中央記念館には、貸出用の会議室がふたつあります。夏は冷房がありませんが、自然の風が吹き抜けます。その他は料金的にもリーズナブルでさまざまな用途にご利用頂いております。



料金	定員		
		半日	1日
第一会議室	20人	800円	1600円
第二会議室	40人	1400円	2800円

※午前:9~12時  
午後:13~16時半(11~3月は16時)完全撤収  
※第二会議室は暗幕・スクリーンあり



ご予約・お問合せは、中央記念館までお気軽にどうぞ♥

## スタッフが見つけたしぜんのひとコマ けんみんのもり写真館

今月の



オオタカ 蒼鷹・大鷹  
(タカ目タカ科)

県民の森で空を見上げていると、パタパタ～スーと横切る小さめの猛禽類、オオタカです。

オスは約50cm程度とハシボソガラスくらいの大きさ、お顔には白い眉斑がくっきりです。飛んでいる姿は下面が白っぽく、尾が長い印象。背面は青みがかかった暗い灰色～褐黒で光が当たると青く見えることから「蒼鷹」が変化しオオタカに。

スズメ、ムクドリ、ハトや自分より大きめのカラスなども捕食するので鷹狩りに使われます。森の奥から「キャッキャッ♪」と鳴声が聞こえる事もありますよ。

(絵:秀・文:もち)



センダイトウヒレン  
仙台塔飛廉  
(キク科トウヒレン属)

物みな澄み渡る爽秋の風に誘われて森を散策していると、艶やかなアザミの花の脇で、ちょっとアザミに似た楚々とした花を見つけました。センダイトウヒレンです。

仙台が基準産地で、「塔」のような立ち姿で、「飛廉」(中国の翼を持つ神獣で、頭は孔雀に似て角があり、体は鹿のようで豹紋があり、尾はヘビに似る)に似た花、というのが名前の由来です。

花を拡大して見ると、雌しべの先端がカールしていてとてもチャーミングです。

この花のどこが神獣「飛廉」に似ているのか、名付け親に是非聞いてみたいです。



(片岡)

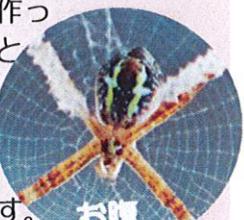


コガタコガネグモ  
小型黄金蜘蛛  
(クモ目コガネグモ科)

名前の通りコガネグモの仲間の中でも小さなクモです。メスで10mm、オスで5mm程度。よく見るとメスはとても綺麗なドレスを着ています。

丸いクモの巣を作った上に『隠れ帯』と呼ばれる白い帯を作り、獲物から自分の姿を隠していると言われています。帯に合わせてお行儀よく2本の足をそろえています。

体色も帯の作り方も個体差があり、帯を作るのを半分でやめてしまったり、気持ちだけちょっと作ったりするのも面白いです。成体はそろそろ、クモの巣から離れたところに卵嚢を作り、1つの卵嚢の中に300～800個の卵を産みます。幼体は卵嚢の中で越冬します。(田沢)



お腹